

ライフサイクルカーボンの算定手法の構築

- ・ 欧米を中心に、従来の建築物の使用段階に発生するCO₂の削減だけではなく、その**建設から解体**に至るまでの**建築物のライフサイクル全体を通じたCO₂の削減**に向けた議論が展開。
- ・ このため、産官学の連携により、**ライフサイクルカーボンの評価手法を整備**することを目的に「**ゼロカーボンビル(LCCO₂ネットゼロ)推進会議**」を**2022年12月に設置**し、検討を開始。

ライフサイクルカーボンの範囲

検討体制

ライフサイクルカーボン (ホールライフカーボン)

アップフロントカーボン

エンボディドカーボン

資材製造段階			施工段階		使用段階 (資材関係)					解体段階			
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用※	維持保全	修繕	交換	改修	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理

使用段階 (光熱水関連)

エネルギー消費
水消費

オペレーショナルカーボン

※冷媒・断熱材からのフロン漏洩等を指す。

これまでのターゲット

ゼロカーボンビル (LCCO₂ネットゼロ) 推進会議

委員長：村上周三・一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長

ホールライフカーボン基本問題検討WG

- ツール開発SWG
- データベース問題検討SWG
- 海外情報SWG

連携

建設時GHG排出量算出マニュアル検討会 (不動産協会)